

Things I Learned in Canada and Japan

カナダと日本で学んだこと

シェニエ・ラサール (Chenier La Salle) 氏

元在名古屋カナダ領事 現カナダ外務省・商務官

2021年11月18日(木) 10:55~12:25

会場 N1-204,205



How has Japan changed over the last 25 years? How do Canadians and Japanese differ in their approach to education, work, life, family, homosexuality? These are some of the questions the speaker will attempt to answer by drawing on his two long terms stays in Japan - first as a student in Nagoya and trader in Tokyo (1994-2004) and then as a Canadian diplomat in late Heisei and early Reiwa (2016-2021). His 15 years spent in Japan become a source of entertaining stories and cultural observations on a changing world, a changing Japan, and a changing Nagoya.

過去 25 年で日本はどう変化したのでしょうか。カナダ人と日本人とでは、教育、仕事、家族、ホモセクシュアリティなどに対する考え方がどのように異なるのでしょうか。2 度にわたる日本での長期滞在の経験に基づいて、このような質問に答えようと思います。1 度目の滞在は 1994 年から 2004 年までで、学生として名古屋で学んだあと東京で貿易に携わっておりました。2 度目は、平成の後半から令和にかけて (2016-2021) カナダの外交官として日本におりました。15 年間の日本滞在は、変化する世界、変化する日本、そして変化する名古屋に関わる面白いストーリーや文化的所見の源になっています。

講師プロフィール

カナダ・ケベック州生まれ。1990 年オタワ大学で法律の学位を取得。1992 年弁護士資格を取得。弁護士として就職した後、再びモントリオール大学に入り、東アジア研究の学位を取得。1994~95 年 留学生として南山大学で日本語を習得。その後、名古屋大学法学部へと進み、日本の政治経済を学ぶ。

2000 年に名古屋大学院法学修士号を取得した後、2004 年まで日本企業にて勤務。

日本メープルリーフフーズ株式会社での民間企業業務を経験し、アルバータ州政府の対日貿易ディレクターを務める。カナダビーフ輸出連合会の副会長を務めた後、外務省に入省。2016 年~2021 年まで在名古屋カナダ領事を務める。現在はカナダ外務省・商務官。

* 講演者はカナダからオンラインで講演いたします。講演は日本語ですが、一部英語で行い、同時通訳いたします (205 通訳付)。

お問い合わせ先 金城学院大学大学院研究室